

心のバリアフリーを拡げたい！



第5回 障がい語るシンポジウム

障がい児たちの学校教育 Part2

地域や街中で障がいを持つ子どもやその家族と出会うことがあると思います。車いすに乗っているお子さん、補聴器をかけているお子さん……障がいが違うと、わからないことや抱えている困ったこと、不便なことなど、みんな違います。教育についてもそうです。

障がいのある子どもたちは、学校でどんなことを学んでいるのだろうか？

どこの学校に通っているの？学校の先生やクラスの子もたちは、どう接してくれているのだろうか？耳の聞こえに不自由な子どもたちのコミュニケーション方法は？通級？副籍？ってなに？

2014年に、「障がい児たちの学校教育」のシンポジウムを開催しました。ハンディをカバーする様々な工夫や「こんなふうになったらうれしいなあ。」というお話をたくさん聞くことが出来ました。

今回は Part2 を開催します。4月に施行された障害者差別解消法により、合理的配慮を可能な限り提供することが、行政・学校・企業などの事業者に求められるようになりました。具体的な取り組みや課題について、学校のこと、教育のこと、進路のこと、悩みや思いなどを語り合っていきましょう！

障害者差別解消法の理念である、障がいのある人もない人も尊重しあい共生する社会のために、学校教育の果たす役割をみんなで考えていきたいと思ひます

障がいにかかわる人も、かかわらない人もたくさんのご参加をお待ちしております。

日時 平成28年11月7日(月)

入場無料

10:00～12:00(9:30受付)

会場 立川市役所 101会議室(1階 障害福祉課横)

内容 第1部 ★「立川市の教育支援の現状について」教育支援課 課長 矢ノ口美穂氏

★シンポジウム

パネラー予定者 *肢体不自由児の保護者 *知的障害児の保護者
*発達障害児の保護者 *聴覚障害児の保護者

第2部 ★参加者との意見交換

お問合せ先 tachikawa.kangaeru@gmail.com

※参加の事前申し込みは必要ありません。要約筆記、手話通訳の必要な方は申し訳ございませんが各自で障害福祉課にご依頼をお願い致します。

主催 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会

後援 立川市社会福祉協議会

立川市・立川市教育委員会後援申請予定

このシンポジウムは、立川市における障がい及び障がいのある人に対する理解を促進するために行われる取組みです。

主催する「障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会」は、市民一人ひとりの権利を大切にできる地域社会を目指し、平成21年より活動を行っています。現在、障がいの種別を越えて集まった17団体・賛助会員で構成されています。また、『障がいのある人もない人も共に暮らしやすい立川をつくる条例(仮称)』策定に向け、立川市と協働しながら誰にとっても暮らしやすい地域社会の実現に努力しています。

平成28年度参加団体

NPO 法人自立生活センター・立川/立川精神障害者家族会(麦の会)/立川市肢体不自由児者父母の会
たつのこ/立川市手をつなぐ親の会/在宅障害者の保障を考える会/中途失聴・難聴者「つばさの会」
立川/高次脳機能障害の会・スマイル/一般社団法人 animo/社会福祉法人幹福社会/社会福祉法人すみれ会/ヘルプ協会たちかわ/NPO 法人多摩在宅支援センター円/NPO 法人立川マック/NPO 法人ゆるら
/NPO 法人こらそん/NPO 法人柿の木ネット/たちかわ精神障害者支援団体連絡会(たちせいれん)

